



事前のお知らせ

“採れたてハチミツからエコ音楽会まで” 多様なエコを体感しよう 第10回「若者と市民の環境会議」を開催します

と き 5月31日(日)午前10時～午後4時50分

と ころ 武蔵大学 50周年記念ホールおよび武蔵大学構内(練馬区豊玉北1-26-1)

31日、武蔵大学(練馬区豊玉北1丁目 山崎哲哉学長)で、6月1日から30日までの環境月間にあわせて、「地球温暖化防止とスマート社会、水素社会づくりへ向けて」をテーマに、「若者と市民の環境会議」を開催する。

このイベントは、未来を担う若い世代をはじめ、多くの人に環境について興味を持ってもらうことを目的に開催。今年で10回目となる。

当日は、午前の部では、同大学構内にある「ミツバチ園」での採蜜作業見学など大学構内エコツアーを実施。一般販売していないレアな“採れたてハチミツ”の試食も楽しめる。

午後の部では、企業、大学、行政などでの環境活動と取組の発表を行う。発表終了後には、参加者の交流会や、ハチミツを使ったスイーツの試食も。武蔵野音楽大学学生によるエコ音楽演奏も予定している。(入場無料)

主催：環境教育支援プロジェクト・武蔵大学

後援：環境省・東京都・練馬区・(公財)練馬区環境まちづくり公社



【過去の様子1】



【過去の様子2】

午前の部 大学構内エコツアー(午前10時～正午) ツアーは当日会場受け付け

大学構内には180種もの樹木があり、豊かな自然環境やエコ設備の見学のほか、大学屋上にある「ミツバチ園」での採蜜作業の見学と採れたてのハチミツをその場で試食できるエコツアーを実施。この「ミツバチ園」は、学生や地域のボランティアで構成される「江古田ミツバチ・プロジェクト」が5年前から巣箱を設置し、西洋ミツバチを飼育している。この武蔵大学産のハチミツは、一般には一切販売していないレアもの。(採蜜作業見学は雨天中止)

午後の部 いま実践している環境活動と取組みの発表(午後1時～3時30分)

企業や大学、行政での取組みの発表を各10分ずつ行う。発表を行うのは、以下の団体である。

早稲田大学高等学院「連携による環境活動の拡大・発展」

麻布大学「青根未来遺産プロジェクト」

東京ガス株式会社「水素社会の実現に向けて」

国立環境研究所「世界の温暖化防止動向と今求められる防止策・適応策」

練馬区「緑と農地を活かした新しい取組み」

東京都「水素社会実現に向けた東京都の取組みについて」

環境省「温暖化防止目標とその具体策」

意見交換・交流会

会議終了後、意見交換や参加者の交流会と武蔵大学特産ハチミツを使ったスイーツの試食も予定。